



9月 調布幼稚園だより

令和7年8月29日



『心の根を育む』

園長 山形美津子

残暑お見舞い申し上げます

立秋とは名ばかりの猛暑が続いておりますが、皆様にはお元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。子どもたちは、夏休みにしかできない貴重な経験をしてきたことと思います。また、大きなけがや事故もなく、元気に過ごしてこられたこと何よりです。夏休みの貴重な経験が子どもたちを大きく成長させたことと思います。2学期からの園での生活や活動にその経験を生かし、力を発揮してくれることを願っております。

さて、人生を木に例えることがあります。人として一番大事な根っこの部分は、乳幼児期につくられると考える例えです。幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであると言われる所以です。この根っこを太く強くたくましくしておくことがその後の人生を生きていくうえで最も大事なことです。

この根っこの中身で一番大事なのは、上部の木が倒れないような安定した太いもの、人と言うと『心』が安定していることです。心が安定していると自分の好きなことに夢中になって取り組み、挑戦していこうという気持ちが湧いてきます。その気持ちが子どもの思考力や運動能力、言語力を育むことに繋がるのです。「好きだ」、「興味がある」というプラスの情報は、脳がしっかり理解でき、思考が深まると言います。一方、「嫌いだ」、「興味が無い」という情報は、理解が浅く、思考も深まらないということです。物事をしっかり受け取め、考えたり試したり工夫しようとしたり、一回やってみてできなくてもまたやってみようという気持ちが大切なのです。

その全ての根源は、「心の安定」「安心感」であると考えます。周りの大人の役目としては、子どもが『安心して過ごせる環境作り』と『子どもへの見守りと励まし』ではないでしょうか。

『安心して過ごせる環境作り』とは、日々の健康管理はもちろんですが、食事と睡眠と衛生面など、当たり前のこととしてなされていることです。そのことが基礎となり心の安定につながっているのです。

そして『見守りと励まし』は、子どもの気持ちに共感し肯定的に見守ってあげること、時には背中を押してあげることや頑張っていることを褒めてあげること等が大事です。このような配慮によって子どもは自信をもって次のステップに進めるのです。それは特別に何かができたということばかりではなく、何かに夢中になっていることでもいいのです。根が細く弱くては木は大きく育ちません。

何事も物事の土台というのは一番大切な部分です。是非2学期も子どもたちの心の根が太く強くなるようご家庭と幼稚園で子どもたちを支えていきましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、二学期もご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

9月の目標

全学年

- 園生活のリズムを取り戻す。
- 1学期に育てていた栽培物や畑の様子の変化に関心をもつ。
- 熱中症予防の意識をもち、日陰で遊んだり、水分を十分に摂ろうとしたりする。
- プールでの約束を守り、安全に遊ぶ。
- 水の心地よさを感じ水に親しみ、水遊びを楽しむ。

年少組

- 園生活のリズムを思い出し、喜んで登園する。
- 気に入った遊具や遊びの場で、自分なりのやり方で遊びを楽しんだり、同じ場にいる友達に親しみをもち、かわりを楽しんだりする。
- 暑い日の過ごし方を思い出し、汗をかいたら自分でハンカチで拭いたり、水分補給をしたりする。

年中組

- 友達とのかかわりを楽しみながら、自分の思いを言葉や動きで伝えたり、友達の思いにも気付こうとしたりする。
- みんなで一緒に取り組む中でルールを守って遊ぶ楽しさや必要性に気づき、勝ち負けのあるゲーム遊びに参加し、嬉しさや悔しさなど様々な感情体験をする。

年長組

- みんなでする活動を楽しむ中で、友達の良さに気付いたり、認めたりする。
- 友達と共通のめあてをもって遊びを進める楽しさを味わう。
- ゴムの動力で動く船など、身近にある素材や材料の性質や使い方が分かり、試行錯誤しながら遊びを楽しむ。

夏休み中の幼稚園

金魚、ドジョウ、カタツムリはどこに行ったの???

夏休み中に課外などで幼稚園に来た子どもたちから、昇降口の様子を見て「先生、カタツムリはどこにいったの？」などの質問を受けました。実は、夏休みの間、金魚とドジョウとカタツムリは幼稚園から教職員の家へお出かけしていました。

昨年度、酷暑の中、土日の間に水槽の水温が上がり金魚たちが生きられない状況になってしまったことがあったため、今年は水温や気温の影響を受けやすい生き物に関しては教職員が自宅に連れ帰り、涼しい環境で過ごせるように配慮しておりました。

子どもたちと一緒に幼稚園に戻ってきた生き物たち、2学期も子どもたちと見守って参ります。

【お願い】

カタツムリには雑菌と寄生虫がいる可能性があります。その為、幼稚園では触った後には必ず手を洗うように指導しています。また、教員が近くにいない時には飼育ケースは開けないようにしています。保護者の方がご一緒の際も触った後は必ず手を洗うようにお話し下さい。

